

鈴鹿工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	データベース論	
科目基礎情報							
科目番号	0014		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	総合イノベーション工学専攻（環境・資源コース）		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：「リレーショナルデータベースの実践的基礎」速水治夫著（コロナ社） 参考書：「We bデータベースの構築技術」速水治夫編著（コロナ社），関係する参考書等は図書館・WWWに多数ある．						
担当教員	田添 丈博						
到達目標							
データベースの基礎と，リレーショナルデータベースの特徴，データベース設計の方法論，S Q Lの基礎とS Q Lを用いた問合せ，データ更新について，それらの基礎を理解している．							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	データベースの基礎を講義する．コンピュータ，インターネット，WWWの普及とともに，データベース技術の重要性は増している．この講義を通して，大量の情報を扱う現代のコンピュータ・システムのしくみについて理解を深める．						
授業の進め方・方法	・すべての内容は，学習・教育到達目標（B）〈専門〉（JABEE基準1(2)(d)(2)a)）に相当する． ・授業は講義・輪講形式で行う．講義中は集中して聴講する． ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする．						
注意点	＜到達目標の評価方法と基準＞下記授業計画の「到達目標」を網羅した問題を中間試験および定期試験で出題し，目標の達成度を評価する．各到達目標に関する重みは同じである．合計点の60%の得点で，目標の達成を確認できるレベルの試験を課す． ＜学業成績の評価方法および評価基準＞適宜求める課題の提出をしていなければならない．中間，期末の2回の試験の平均点を60%，課題の評価を20%，小テストを20%として評価する．ただし，中間試験の成績が60点に達していない者には再試験の機会を与え，再試験の成績が再試験前の成績を上回った場合には60点を上限として置き換えるものとする． ・ ＜単位修得要件＞学業成績で60点以上を取得すること． ＜あらかじめ要求される基礎知識の範囲＞コンピュータの基本的な使い方（Windows，ワープロ，WWWなど）．本教科の学習には，高専での数学の習得が必要である． ＜自己学習＞授業で保証する学習時間と，予習・復習（中間試験，定期試験のための学習も含む）及びレポート作成に必要な標準的な学習の総計が，90時間に相当する学習内容である． ＜備考＞自己学習を前提とした規定の単位制に基づき授業を進め，オンラインでの課題提出を求めたり小テストを行ったりするので，インターネットが利用できる環境を準備するとともに，日頃の予習復習に力を入れること．						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	データベースの基礎		1．データベースの基礎について理解している．		
		2週	リレーショナルデータベース		2．リレーショナルデータベースについて理解している．		
		3週	主キーと外部キー		2．リレーショナルデータベースについて理解している．		
		4週	リレーショナル代数		2．リレーショナルデータベースについて理解している．		
		5週	データベース設計		3．データベース設計について理解・実践できる．		
		6週	正規化		3．データベース設計について理解・実践できる．		
		7週	E Rモデル		3．データベース設計について理解・実践できる．		
		8週	中間試験		これまでに学習した内容を説明し，諸量を求めることができる．		
	4thQ	9週	S Q L		4．S Q Lについて理解している．		
		10週	問合せ		5．S Q Lを用いた問合せについて理解・実践できる．		
		11週	探索条件		5．S Q Lを用いた問合せについて理解・実践できる．		
		12週	Accessを用いた演習（問合せ）		5．S Q Lを用いた問合せについて理解・実践できる．		
		13週	データ更新		6．S Q Lを用いたデータ更新について理解・実践できる．		
		14週	ビュー		6．S Q Lを用いたデータ更新について理解・実践できる．		
		15週	Accessを用いた演習（データ更新）		6．S Q Lを用いたデータ更新について理解・実践できる．		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100

配点	80	20	0	0	0	0	100
----	----	----	---	---	---	---	-----